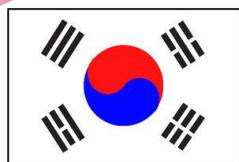


スポーツ庁国庫補助事業
2019年度地域交流(都道府県・市区町村交流)
報告書

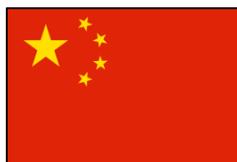
Annual Report 2019
Regional Exchange Program



JAPAN



KOREA



CHINA



RUSSIA



公益財団法人

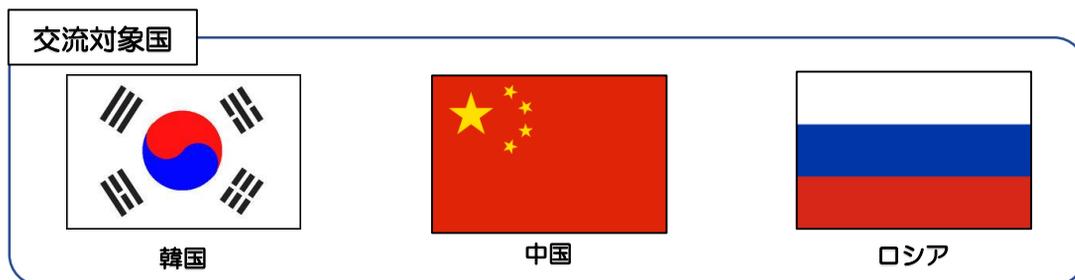
日本スポーツ協会

目次

概要	P.2
2019年度実施要項	P.3
2019年度実施交流一覧	P.5
2019年度実施交流概要	P.6
参加者ヒアリング結果	P.17
地域交流の実績	P.19

概要

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定、2007年に日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」、2016年に発表された「ロシアにおける日本年」といった韓国・中国・ロシアとの友好関係を契機として、3カ国とのスポーツによる交流を一層促進するため、各国との地域レベルにおけるスポーツ交流を実施することにより、相互理解と友好親善を深めるとともに各地域のスポーツ振興を図ることを目的とする。

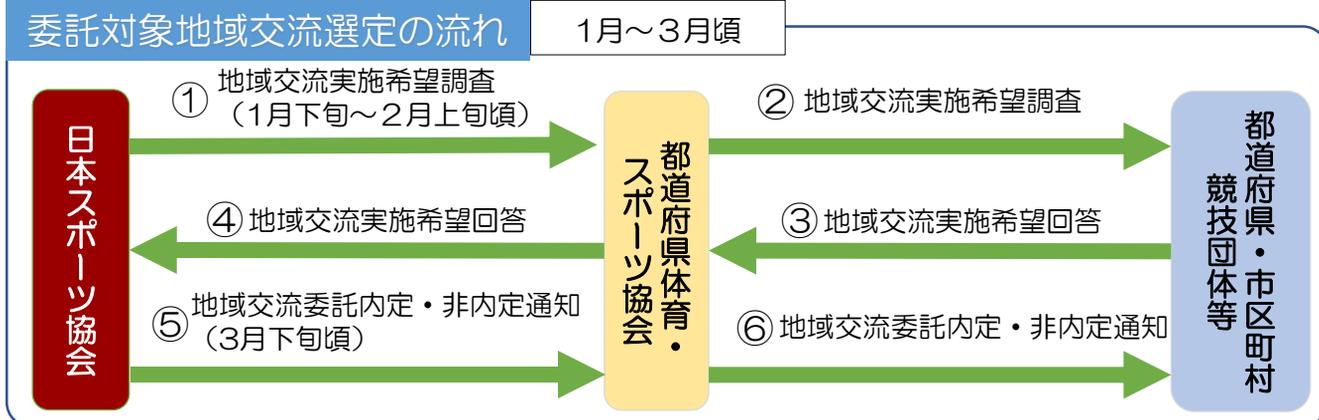


交流方式

派遣	日本の都道府県・市区町村単位で編成する選手団を対象国へ派遣する交流
受入	対象国が編成する選手団を日本の都道府県・市区町村で受け入れる交流
対象区分	5区分（小学生・中学生・高校生・大学生・成人）
対象競技	日本スポーツ協会加盟競技団体種目
実施形態	地域交流委託（日本スポーツ協会が当該都道府県体育・スポーツ協会へ委託）

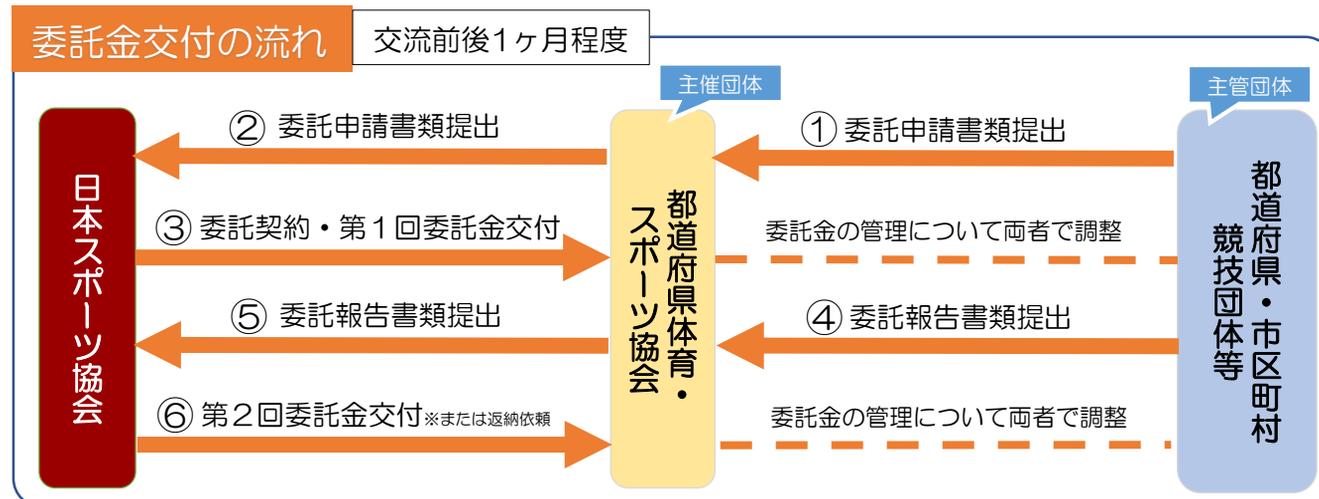
委託対象地域交流選定の流れ

1月～3月頃



委託金交付の流れ

交流前後1ヶ月程度



2019年度地域交流(都道府県・市区町村交流) 実施要項

＝スポーツ庁国庫補助事業＝

1. 目的

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定、2007年に日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」、2016年に発表された「ロシアにおける日本年」といった韓国・中国・ロシアとの友好関係を契機として、3カ国とのスポーツによる交流を一層促進するため、各国との地域レベルにおけるスポーツ交流を実施することにより、相互理解と友好親善を深めるとともに各地域のスポーツ振興を図ることを目的とする。

2. 対象国

韓国、中国、ロシア(以下「対象国」という。)

3. 交流方式と基準

(1) 派遣交流

日本の都道府県または市区町村単位で編成する選手団を対象国へ派遣する交流。

(2) 受入交流

対象国で編成する選手団を日本の都道府県または市区町村で受け入れる交流。

(3) 交流実施形態

公益財団法人日本スポーツ協会(以下「当協会」という。)が当該自治体の都道府県体育・スポーツ協会へ委託して行う。

(4) 交流実施の対象都道府県および市区町村

対象とする都道府県または市区町村、競技種目は、おおむね下記に該当するものとする。

なお、当協会から都道府県体育・スポーツ協会に対して送付する実施希望調査への回答を基に、「4. 実施規模」に記載の範囲内で採択する。

(ア) 当協会が実施する「日韓スポーツ交流」および「日中スポーツ交流」の開催実績がある都道府県または市区町村。

(イ) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する事前キャンプ誘致等に際し、対象国との国際交流を実施する都道府県または市区町村

(ウ) 対象国とスポーツを通じて友好・親善を深めることを目的として新規もしくは継続して交流を実施する都道府県または市区町村。

(5) 対象実施競技種目

実施競技種目は、当協会加盟競技団体種目とする。

(6) 構成の要件

(ア) 主催団体は、公益財団法人日本スポーツ協会および当該都道府県体育・スポーツ協会とし、その他の団体は、主管等とする。

(イ) 名称に「スポーツ庁国庫補助事業」という冠名称を付記する。また、韓国との交流に限り、それに加えて「日韓共同未来プロジェクト事業」という冠名称を付記する。

(ウ) 原則、日本選手団員(派遣)、対象国選手団員(受入)ともに選手は10名以上とする。

(エ) 派遣・受入ともに、スポーツ活動(練習・試合・講習会・スポーツ観戦など)を主体とし、なおかつ、文化探訪(市内見学・買い物など)を含む日程とする。また、スポーツ活動と文化探訪の活動時間の割合は必ず2対1以上(スポーツ活動の割合を2より多くする)とする。

(オ) 受入においては、活動のすべて(文化探訪を含む)を受入都道府県内で行うこととする。

- (カ) 交流参加者は小学生高学年～70歳迄を原則とし、交流相手との合意により決定する。
- (キ) 本交流を主管する団体は、日本選手団員を複数の団体から選出する。
- (ク) 他の助成・補助金で行われる活動と本交流を重複させることはできない。

4. 実施規模(予定)

韓 国： 10交流(派遣5、受入5)

中 国： 3交流(派遣3)

ロシア： 6交流(派遣4、受入2)

5. 委託対象期間

2019年4月19日(金)から2020年2月28日(金)(予定)

2019年度地域交流一覧

No.	都道府県	交流国	名称	派遣/ 受入	期間【始】	期間【終】	日数	開催地	実施競技種目	主管団体	交流先団体	参加者区分	同行 役員	⇒委託 対象	選手	⇒委託 対象	運営員	⇒委託 対象	通訳	⇒委託 対象	参加者 合計	⇒委託 対象	総開催数	JSPO 委託回数
1	福岡県	韓国	北九州市・テグ広域キッズ陸上競技交流事業	派遣	令和元年7月20日(土)～ 7月23日(火)		4日間	大邱広域市大邱陸上 振興センター テグスタジアム	陸上競技 60m走・400m走 100m走・500m走	一般財団法人北九州市陸上競技協会	テグ広域市教育委員会 テグ広域市陸上競技連合	小学生	5	(2)	17	(17)				(0)	22	(19)	5	1
2	高知県	韓国	日韓交流ソフトボール事業	派遣	令和元年11月8日(金)～ 11月11日(月)		4日間	ソウル特別市	ソフトボール	高知ソフトボール協会	ソウル市特別区ソフトボール協会	成人	2	(2)	16	(16)					18	(18)	3	4
3	青森県	韓国	青森県・平澤市サッカー協会友好交流事業	受入	令和元年5月17日(金)～ 5月19日(日)		3日間	青森県青森市	サッカー	青森県サッカー協会	平澤市サッカー協会	成人	20	(2)	19	(18)	1	(1)	1	(1)	41	(22)	1	1
4	大阪府	韓国	大阪クラブチーム・仁川ハンドボール交流	受入	令和元年7月22日(月)～ 7月27日(土)		6日間	大阪府	ハンドボール競技	大阪ジュニアクラブ	仁川萬城中学校	中学生	3	(2)	18	(18)	4	(1)	2	(2)	27	(23)	1	1
5	高知県	韓国	仁川・高知バスケットボール交流事業	受入	令和元年10月11日(金)～ 10月14日(月)		4日間	高知県高知市	バスケットボール	一般社団法人 高知県バスケットボール協会	国民生活体育仁川広域市 バスケットボール連合会	成人	1	(1)	10	(10)	2	(1)	1	(1)	14	(13)	4	2
6	長崎県	韓国	2019平戸・金海親善少年サッカー交流事業	受入	令和元年10月11日(金)～ 10月15日(火)		5日間	平戸市	サッカー	平戸市サッカー協会	金海ユナイテッド	小学生・成人	5	(2)	20	(0)	5	(0)	3	(1)	33	(3)	4	1
7	北海道	韓国	日韓カーリング交流	受入	令和2年1月30日(木)～ 2月4日(火)		6日間	札幌市	カーリング	札幌カーリング協会	ソウルカーリング協会	中学生・高校生	1	(1)	13	(13)	1	(0)	1	(1)	16	(15)	新規	新規
8	東京都	中国	東京都豊田区・日中卓球交流事業	派遣	令和元年8月14日(水)～ 8月19日(月)		6日間	河北省保定市	卓球	豊田区卓球協会	嘉来卓球訓練学校	中学生	2	(2)	18	(18)					20	(20)	4	4
9	栃木県	中国	栃木県バドミントン協会・上海バドミントン交流	派遣	令和元年12月27日(金)～ 12月31日(火)		5日間	上海市	バドミントン	栃木県バドミントン協会	浙江省杭州市バドミントン協会	高校生	2	(2)	10	(10)					12	(12)	1	1
10	埼玉県	ロシア	本場ロシアホッケー交流事業	派遣	令和元年5月18日(土)～ 5月26日(日)		9日間	モスクワ	アイスホッケー	埼玉県アイスホッケー連盟	クリミアソビエトフスバルタモスクワ ディナモモスクワ	小学生	2	(2)	18	(18)					20	(20)	新規	新規
11	北海道	ロシア	サハリン州スポーツ交流事業	派遣	令和元年6月22日(土)～ 6月24日(月)		3日間	サハリン州ユジノサリンスク市	ボクシング	北海道ボクシング連盟	ロシア・サハリン州ボクシング連盟	高校生・大学生	5	(2)	10	(10)					15	(12)	3	新規
12	北海道	ロシア	第21回北海道柔道連盟(ジュニア)・ロシア親善交流	派遣	令和元年8月29日(木)～ 9月2日(月)		5日間	ユジノサリンスク	柔道	北海道柔道連盟	サハリン州柔道連盟	小学生・中学生	3	(2)	25	(18)					28	(20)	20	2
13	青森県	ロシア	青森県・モスクワアイスホッケー交流事業	派遣	令和元年10月13日(日)～ 10月19日(土)		7日間	モスクワ	アイスホッケー	青森県アイスホッケー連盟	サントペテルブルグ C K A (カ) アイスホッケークラブ	中学生	2	(2)	18	(18)					20	(20)	1	新規
14	福岡県	ロシア	宗像市・ロシアラグビーユース交流事業	受入	平成31年4月26日(金)～ 令和元年5月7日(火)		12日間	宗像市	ラグビー	宗像市	エニセイ S T M (ロシア)	高校生	5	(2)	30	(18)	1	(0)	1	(1)	37	(21)	19	新規
15	北海道	ロシア	ノシビルスク女子新体操選手受入事業	受入	令和元年6月19日(水)～ 6月24日(月)		6日間	北海道札幌市	新体操	札幌体操連盟	ノシビルスク州新体操連盟	小学生・中学生 高校生	5	(2)	11	(11)	5	(0)	1	(1)	22	(14)	1	1

※中止交流

No.	都道府県	交流国	名称	派遣/ 受入	期間【始】	期間【終】	日数	中止の理由	主管団体
1	山口県	韓国	山口県ハンドボール競技交流事業	受入	令和元年7月28日(日)～ 7月31日(水)		4日間	交流先団体にて受入が困難になったため	下関市ハンドボール協会
2	兵庫県	韓国	兵庫県・済州特別自治道ソフトテニス競技交流事業	派遣	令和元年8月24日(土)～ 8月26日(月)		3日間	主管団体から派遣が困難になったため	兵庫県ソフトテニス連盟
3	京都府	中国	堺波市テニス国際交流事業	派遣	令和元年10月11日(金)～ 10月14日(月)		4日間	交流先団体にて受入が困難になったため	長岡京市体育協会
4	栃木県	韓国	栃木県バドミントン協会・ソウル特別市バドミントン交流	派遣	令和2年2月7日(金)～ 2月10日(月)		4日間	交流先団体にて受入が困難になったため	栃木県バドミントン協会

2019 年度地域交流 実施交流概要（韓国）

韓国



2019 年度地域交流

韓国とは派遣交流 2、受入交流 5 が実施されました。

2019 年度地域交流 実施交流概要（韓国）

No.1 北九州市・テグ広域市キッズ陸上競技交流事業（派遣）[福岡県]			
委託団体	公益財団法人福岡県体育協会	交流国	韓国
交流期間	2019年7月20日(土)～7月23日(火)	開催地	大邱広域市大邱陸上振興センター テグスタジアム
交流団体	テグ広域市教育委員会 テグ広域市陸上競技連合	実施競技	陸上競技(4種競技大会)①60m走②400m走 ③やり投④走幅跳
主管団体	一般財団法人北九州市陸上競技協会	開催数	5
参加区分	小学生	委託金決算額	約 53万円
実施経緯	平成26年から、北九州市陸上競技協会とテグ広域市陸上競技連合が隔年ごとの交流を行ってきた。当初は成人（マスターズ）の交流であったが、平成29年からは小学生（キッズ）交流となった。平成29年は北九州市から小学生17名・役員7名を派遣した。平成30年は、テグ広域市から、小学生18名・役員6名の受入を行った。なお、平成30年の受入では、JSPOより補助をいただいた。		
主管団体 総 評	日本と韓国間の政治状況を受けた中での派遣だったが、地元ではスポーツを通じた交流に対して、大歓迎を受けた。同じ時期に世界水泳韓国大会（広州市）も実施されており、スポーツが政治に翻弄されることなく実施されたことは成果だった。地下鉄で移動や市内観光中でも、地元の方々から「よく来たね、頑張ってる」などと励ましの言葉を多くいただき、お菓子の差し入れまでいただいた。北九州市の子ども達も、韓国に対して悪い印象は受けなかった。他国を訪問し、スポーツを通しての国際交流の重要さが実感できたのではと思う。		

No.2 日韓交流ソフトボール事業（派遣）[高知県]			
委託団体	公益財団法人高知県スポーツ協会	交流国	韓国
交流期間	2019年11月8日(金)～11月11日(月)	開催地	ソウル特別市
交流団体	ソウル市特別区ソフトボール協会	実施競技	ソフトボール
主管団体	高知ソフトボール協会	開催数	3
参加区分	成人	委託金決算額	約 90万円
実施経緯	2012スポーツマスターズ高知大会を機に交流を開始し、派遣2回受入2回を実施。現在高知県は2020東京オリンピックの事前合宿地として各国にアピールをしています。事前合宿だけでなく、その後に残る「Legacy」を求めています。この交流はスポマスを機に交流がスタートし、人と人との交流、観光での高知県への来高、今後の人材交流（留学等）、韓国実業団の合宿（現在準備中）等幅広い交流へと繋がってきました。2020を機に求めている「Legacy」の良き見本となっています。		
主管団体 総 評	今回新しく交流に参加した方が多く、韓国へ行くことを家族や会社が不安がる事が多く、日韓情勢の悪化とともに、参加者を募集することに苦労しました。しかし、実際に参加して、国の良さや報道とは違った韓国の接し方で、参加者全員のイメージも大きく変わりました。また、オリンピック委員会の職員も遊びに来てくださり、日本と韓国の間には大きな溝がないことを参加者が知ることが出来ました。		



北九州市・テグ広域市キッズ陸上競技交流事業
「キッズラン表彰式」



日韓交流ソフトボール事業
「集合写真」

2019 年度地域交流 実施交流概要（韓国）

No.3 青森県・平澤市サッカー協会友好交流事業（受入）[青森県]

委託団体	公益財団法人青森県スポーツ協会	委託団体	公益財団法人青森県スポーツ協会
交流期間	2019年5月17日(金)～5月19日(日)	交流期間	2019年5月17日(金)～5月19日(日)
交流団体	平澤市サッカー協会	交流団体	平澤市サッカー協会
主管団体	青森県サッカー協会	主管団体	青森県サッカー協会
参加区分	成人	参加区分	成人
実施経緯	2002年日韓共催でアジア初のワールドカップ開催を機にサッカーのみならず各分野にわたり日韓交流の気運が高まるなかで、これを機にサッカー交流を深め、合わせて日本、韓国の一層の友好発展に寄与することをねらいとして、交流を行うこととした。以降、県サッカー協会（青森市協会）平澤市サッカー協会は隔年で相互に行き来し交流している。		
主管団体 総 評	サッカー競技での交流は勿論だが、試合後の懇親会や文化探訪において、お互いに言葉が通じない状況でも、片言の韓国語と英語、または身振り手振りでこちらの意思を伝え、その結果が交流の相手にも理解され、笑いあえたり喜んだりできたことは、非常に有意義であった。		

No.4 大阪クラブチーム・仁川ハンドボール交流（受入）[大阪府]

委託団体	公益財団法人大阪府スポーツ協会	交流国	韓国
交流期間	2019年7月22日(月)～7月27日(土)	開催地	大阪府
交流団体	仁川萬城中学校	実施競技	ハンドボール競技
主管団体	大阪ジュニアクラブ	開催数	2
参加区分	中学校	委託金決算額	約 128万円
実施経緯	2015年に韓国の大会に参加したことをきっかけに、仁川との交流が始まりました。その時に、ソウルオリンピックなど3大会メタリストJeongho Hongさんと知り合い、そこからの紹介で実現。アジアでのライバルであり、良きパートナーでもある韓国とのジュニア世代の交流が大切だと考えた。		
主管団体 総 評	今年は日本と韓国間の政治状況もあり、交流ができるのか不安な部分もあったが、韓国の人達が決断し、来阪してくれた。もう少し時期がずれていたら、実現しなかったかもしれない。国同士の関係も気になるころだったが、スポーツにおける交流は別と考え、これからも良い関係を持てるようにしたいと心から思った。2月に韓国に来ないか？という話もいただきこれから前向きに検討し、良い関係を持てるようにしたい。		



青森県・平澤市サッカー協会友好交流事業
「集合写真」



大阪クラブチーム・仁川ハンドボール交流
「親善試合」

2019 年度地域交流 実施交流概要（韓国）

No.5 仁川・高知バスケットボール交流事業（派遣）[高知県]

委託団体	公益財団法人高知県スポーツ協会	交流国	韓国
交流期間	2019年10月11日(金)～10月14日(月)	開催地	高知県高知市
交流団体	国民生活体育仁川広域市バスケットボール連合会	実施競技	バスケットボール
主管団体	一般社団法人高知県バスケットボール協会	開催数	4
参加区分	成人	委託金決算額	約 51万円
実施経緯	平成24年度開催の日韓スポーツ交流事業で、韓国国民生活体育全国バスケットボール連合会との交流が始まり、26年度からは仁川広域市バスケットボール連合会が中心で、交流を継続することとなった。		
主管団体 総 評	これまで続けてきたスポーツを通じた交流が、国や文化の違いを超えて、人と人との繋がりが、より一層強い絆の様なものに変化していることを実施していて実感する。お互いの信頼関係が、深まっていく事で、ただプレーの質の向上というレベルから、お互いが人としてどうあるべきかという事さえも気づかせてくれる機会にまで、広がっていくような気がする。現在は、社会人の交流が中心になっているが、今後この交流が他のカテゴリーに広がり、更にお互いを理解しつつ広がっていく事を祈念してやまない。		

No.6 2019平戸・金海親善少年サッカー交流事業（受入）[長崎県]

委託団体	公益財団法人長崎県体育協会	交流国	韓国
交流期間	2019年10月11日(金)～10月15日(火)	開催地	平戸市
交流団体	金海ユナイテッド	実施競技	サッカー
主管団体	平戸市サッカー協会	開催数	4
参加区分	小学生・成人	委託金決算額	約 29万円
実施経緯	当時韓国亀浦（クポ）小サッカー部監督のユン Chol 氏と交友関係のある平戸市出身の鴨川氏を經由して「韓国亀浦（クポ）小が平戸市とサッカー交流がしたい」という要請を受け、平成22年から4年間、亀浦（クポ）小とのサッカー交流を行いました。その後、セウォル号の沈没事故で1年間中断し、平成27年以降からは、南海（ナメ）小と年1回、持ち回りで交流事業を実施している。（開催場所 H27：平戸市、H28：南海市、H29：平戸市、H30：南海市、H31：平戸市）		
主管団体 総 評	言葉が上手く通じないのではないかと不安だったが、実際に会うと兄弟みたいに気を遣わずに生活ができ、一緒にサッカーをしたり、遊んだりできた。言葉はわからなかったが、ジェスチャーや表情で相手のことを考えることができた。言葉は通じなくても気持ちは通じ合えることがわかった。始めは仲良くなれるか心配でもあったが、すぐに仲良くなれて5日間とても充実した交流ができた。日本を離れてからもLINEやテレビ電話で通じ合うことができていて、素晴らしい友達ができたと本当に嬉しく思う。		



仁川・高知バスケットボール交流事業
「集合写真」



2019 平戸・金海親善少年サッカー交流事業
「合同練習会」

2019 年度地域交流 実施交流概要（韓国）

No.7 日韓カーリング交流（受入）[北海道]

委託団体	公益財団法人北海道スポーツ協会	交流国	韓国
交流期間	2020年1月30日(木)～2月4日(火)	開催地	札幌市
交流団体	ソウルカーリング協会	実施競技	カーリング
主管団体	札幌カーリング協会	開催数	新規
参加区分	中学生・高校生	委託金決算額	約 110万円
実施経緯	平成29年にソウルから札幌に中学生を受け入れ、平成30年はかなわなかった。今後継続的にソウルカーリング協会と交流をはかりたいと連絡を取っている。		
主管団体 総 評	子供たちからは、大変大きなパワーを感じた。言葉が通じなかったとしても、なんとなくコミュニケーションが取れていたのは、お互いに理解しようと思う気持ちがあったからだと感じている。そこに大きなパワーを感じた。今後この子供たちが継続してカーリングをプレーしていくなら、いつか日本代表や韓国代表としてトップのレベルで対戦している姿を見れるかもしれない。今後継続的に、こういった交流ができるのであれば、競技レベルもさることながら、子供たちの人間力も高めていけるに違いないと感じた。		



日韓カーリング交流
「交流終了後の集合写真」

中国



2019 年度地域交流

中国とは派遣交流 1、受入交流 1 が実施されました。

2019 年度地域交流 実施交流概要（中国）

No.8 東京都墨田区・日中卓球交流事業（派遣）[東京都]

委託団体	公益財団法人東京都体育協会	交流国	中国
交流期間	2019年8月14日(水)～8月19日(月)	開催地	河北省保定市
交流団体	喜来卓球訓練学校	実施競技	卓球
主管団体	墨田区卓球協会	開催数	4
参加区分	中学生	委託金決算額	約 169万円
実施経緯	喜来卓球訓練学校の校長である呉氏は、日本（当団体：墨田区）で指導者として活躍された経緯があり、帰国後も墨田区との交流が続いている。また、保定市は世界チャンピオンを何名も輩出している歴史があり、墨田区においても世界チャンピオンや日本代表選手を輩出している。お互いに卓球を広めていきたいという思いから、交流の継続を望んでいる。		
主管団体 総 評	今回は、全員が競技に専念できたことが第一に嬉しかった。時間を確保はできたが移動に時間が取られてしまうのも足りない部分も多かった。もっと多くの文化を学ぶ時間、地域の方々との交流が必要だと感じた。今回、以前には感じなかったフェアプレー精神が交流相手に浸透しており、変化に驚いた。中国ではスポーツ交流相手以外の一般の方でも、大変にこやかな対応であり、とても親切で穏やかに感じた。とても気持ちのよい対応だった。卓球技術は先進しており、私たちも多くの技術を学ぶことができ、自信に繋がった。		

No.9 栃木県バドミントン協会・上海バドミントン交流（派遣）[栃木県]

委託団体	公益財団法人栃木県体育協会	交流国	中国
交流期間	2019年12月27日(金)～12月31日(火)	開催地	上海市
交流団体	浙江省杭州市バドミントン協会	実施競技	バドミントン
主管団体	栃木県バドミントン協会	開催数	1
参加区分	高校生	委託金決算額	約 108万円
実施経緯	栃木県体育協会の事業の一環であるトップ指導者招聘事業で、元中国ナショナルチーム選手であるグ・ジャーミン女史により複数年にわたって指導を受けており、そのなかで地域同士で交流を行うことになりました。2016年度この日中スポーツ交流事業で浙江省杭州バドミントンチームを訪問、交流しました。		
主管団体 総 評	中国の選手は単発なミスが少なく、一つ一つのストロークが安定しており、試合をやらせて頂いた時も日本選手と比べてラリー負けをしないラリー力が優れていました。練習時間は短いのですが、その短い時間の中でも練習課題にひたむきに取り組む結果だと分かり、本県選手も単調な練習でも緊張感を維持しながら集中して練習ができたことは、帰国後の今後の練習に大いに影響を与え、刺激を受けたと思います。また、言葉の障害がありながらもお互いに何とかしようと通訳を交えながら積極的にコミュニケーションをとろうと努力する姿が見受けられ、バドミントンの技術向上だけでなく、国際交流の観点からも非常に有意義な経験をすることができました。		



東京都墨田区・日中卓球交流事業
「成人ダブルス対決（中国 vs 日本の試合）」



栃木県バドミントン協会・上海バドミントン交流
「交流中の様子」

2019 年度地域交流 実施交流概要 (ロシア)

ロシア



2019 年度地域交流

ロシアとは派遣交流 4、受入交流 2 が実施されました。

2019年度地域交流 実施交流概要（ロシア）

No.9 本場ロシアホッケー交流事業（派遣）[埼玉県]			
委託団体	公益財団法人埼玉県スポーツ協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年5月18日(土)～5月26日(日)	開催地	モスクワ
交流団体	クリリアソビエトフ・スパルタモスクワ・ディナモモスクワ	実施競技	アイスホッケー
主管団体	埼玉県アイスホッケー連盟	開催数	新規
参加区分	小学生	委託金決算額	約 275万円
実施経緯	<p>本県アイスホッケー連盟の特任コーチを務めるワシリペルーヒン氏は、元ロシア（旧ソビエト）のナショナルチームの選手（オリンピックゴールドメダリスト・世界選手権6度優勝）で、そのキャリアを活かし、本県アイスホッケーの普及と選手の育成の環境を充実させるため、地元（モスクワ）のチームとの交流事業を展開することとした。</p>		
主管団体総評	<p>私達は、常々、アイスホッケーを通じて、子供達に世界観を広げて欲しいと考えております。今回のスポーツ庁の補助を受け、今まで連盟として、またワシリー氏を通じ、草の根的な活動を続けてきたことが一定の評価を得られたと自負するとともに、日本スポーツ協会並びに埼玉県スポーツ協会のサポートを受けロシア交流が実現出来ました事、誠に感謝致します。</p> <p>交流中は、ロシア人のコーチから指導後に日本人選手（チーム）について色々助言を頂きました。ロシアチームとの戦いでは、正直個人としてのスキルやパワーは敵いません。勿論、それを補うためのスピードやチームワークの技術や戦術はありますが、基礎・基本に雲泥の差がありました。今回のロシア遠征を通じ、文化交流に加え、改めて家庭で出来る練習、個人で練習する努力、チームで対応する練習など、みんなが勉強になったと思います。帰国後の練習では、特に中学生は「集中」して次のメニューやコーチのアドバイスを聞く姿や貪欲に教わろうとする積極性が見られました。この芽生えた気持ちを絶やすことなく、子ども達の学生生活で活かされ、何処までも天高く羽ばたいて欲しいです。現地ロシアスタッフ、コーチ、とても私たち日本人に気を配って頂きました。本当に感謝です。</p>		

※主管団体総評の全文を短縮して掲載しております。

No.10 サハリン州スポーツ交流事業（派遣）[北海道]			
委託団体	公益財団法人北海道スポーツ協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年6月22日(土)～6月24日(月)	開催地	サハリン州 ユジノサハリンスク市
交流団体	ロシア・サハリン州ボクシング連盟	実施競技	ボクシング
主管団体	北海道ボクシング連盟	開催数	新規
参加区分	高校生・大学生	委託金決算額	約 78万円
実施経緯	<p>平成29年9月に、サハリンのボクシング連盟が来道し、スポーツ交流を実施した。平成30年11月に、サハリン州ボクシング連盟の招待により北海道ボクシング連盟選手・役員計111名で参加した。平成31年3月に、サハリンボクシング連盟が再来道の予定である。</p>		
主管団体総評	<p>日本のボクシングとは異なるロシアのボクシングとの対戦を通して、距離をとって戦うアウトボクシングの戦術やカウンターの技術等を学ぶことができた。また、交流先のサハリンの方々には日本人や日本の文化に対して好印象を持っており、日本との交流大会を継続していきたいという希望を持っており、北海道連盟としても交流大会を継続していきたいと感じました。</p>		



本場ロシアホッケー交流事業
「交流試合の様子」



サハリン州スポーツ交流事業
「成人の試合の様子」

2019 年度地域交流 実施交流概要 (ロシア)

No.11 第21回北海道柔道連盟(ジュニア)・ロシア親善交流 (派遣) [北海道]			
委託団体	公益財団法人北海道スポーツ協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年8月29日(木)~9月2日(月)	開催地	ユジノサハリンスク
交流団体	サハリンサンボ柔道連盟	実施競技	柔道
主管団体	北海道柔道連盟	開催数	20
参加区分	小学生・中学生	委託金決算額	約 138万円
実施経緯	講道館国際部から北海道柔道連盟に対しに少年柔道交流事業の一環として、平成11年から柔道交流が始められ現在に至っている。隔年で交流を行うこととしており、本年度は、ロシア・ユジノサハリンスク市にて交流を行う。平成26年からサハリンで柔道大会が開催されており、今年で6回目の開催です。		
主管団体 総 評	言葉が通じなくても一緒に楽しめるスポーツの持つ素晴らしさ、またスポーツが世界共通語だと改めて実感しました。柔道交流に参加することは、たくさんの人との繋がりを持つことができ、今後の自分の進路に影響する体験ができる。選手も一回り大きくなったのを実感していると思う。 今回の柔道交流に参加して、その他の団体も海外の文化を肌で触れることをお勧めしたい。全てが新鮮に感じる中で、多くのことを吸収することができた。全体を振り返って、素晴らしい仲間と素晴らしい指導者方のおかげで、私自身とても成長できたと思う。今回学んだことは一生の宝物です。これから絶対に生かして、この想いを多くの人に伝えていきたい。今後もこの活動に参加する人が1人でも増えたらと心から思った。		

No.12 青森県・モスクワアイスホッケー交流事業 (派遣) [青森県]			
委託団体	公益財団法人青森県スポーツ協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年10月13日(日)~10月19日(土)	開催地	モスクワ
交流団体	サントペテルブルグ C K A (スカ) アイスホッケークラブ	実施競技	アイスホッケー
主管団体	青森県アイスホッケー連盟	開催数	新規
参加区分	中学生	委託金決算額	約 360万円
実施経緯	昨年ハバロフスクに小学生を派遣した。青森県教育委員会が主導し2005-2006ロシア オムスク地方から2年間スポーツ国際交流員(SEA)として従事していた方が現在サントペテルブルグでアイスホッケーの指導をされていると情報が入る。未だ青森県として未踏の地(東ヨーロッパ側)の団体と交流を深めたい。ロシア国内でもスポーツの取組み方や文化の違いも実感出来る為、是非派遣したい。		
主管団体 総 評	モスクワはアイスホッケーをやる環境は日本より数段整っている。スケートリンク(プロリーグ)も3チームあり育成システムから差をつけられている。旧共産スタイルで選ばれた選手はアイスホッケー学校で幼少から17歳まで指導を受ける。今の日本の育成スタイルでは追いつけないと感じた。国内で遠征慣れしているとはいえモスクワは全員が初めてで見るものすべてが新鮮だった。ホテルの生活・食事・コンビニは無し。公衆トイレなしと日本では当たり前なものがない生活をそれなりに楽しんでいて、慣れない食事に手こずっていた。コンビニがなくても近くのスーパーに行き買い物をしてくる度胸。今後も機会があればロシア(別の都市)と積極的に交流したいと思う。指導者にとっても選手たちにとってもマイナスなところはなく学ぶことが多かった交流だった。		



第 21 回北海道柔道連盟(ジュニア)・ロシア親善交流
「合同稽古」



青森県・モスクワアイスホッケー交流事業
「集合写真」

2019 年度地域交流 実施交流概要 (ロシア)

No.13 宗像市・ロシア ラグビーユース交流事業 (受入) [福岡県]			
委託団体	公益財団法人福岡県体育協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年4月26日(金)~5月7日(火)	開催地	宗像市
交流団体	エニセイ-S T M (ロシア)	実施競技	ラグビー
主管団体	主催：一般財団法人サニックススポーツ振興財団 主管：宗像市	開催数	20
参加区分	高校生	委託金決算額	約 90万円
実施経緯	グローバルアリーナ (宗像市) で開催されるサニックスワールドラグビーユース交流大会にロシア Enisei-STM チームを招待し、国内チームとのスポーツ交流・文化交流の他、地元中高生との文化交流を実施する。		
主管団体 総 評	<p>本大会を主催している一般財団法人サニックススポーツ振興財団は長年スポーツを通じた青少年の健全育成、国際交流の取り組みを続けている。また開催地である宗像市はロシアのホストタウンとしてロシアとの国際交流に積極的に取り組んでいる。本補助事業はスポーツを通じた日本・ロシアの国際交流を支えると同時に、官民の連携を強化する効果も生んでいる。</p> <p>本交流は競技力の向上だけではなく異文化理解にも重点を置いており、同じ競技を志す仲間たちと寝食を共にし、個人レベルで関係性を持つことは、グローバルな視点を身につけるきっかけとなるものである。</p>		

No.14 ノボシビルスク女子新体操選手受入事業 (受入) [北海道]			
委託団体	公益財団法人北海道スポーツ協会	交流国	ロシア
交流期間	2019年6月19日(水)~6月24日(月)	開催地	北海道札幌市
交流団体	ノボシビルスク州新体操連盟	実施競技	新体操
主管団体	札幌体操連盟	開催数	1
参加区分	小学生・中学生・高校生	委託金決算額	約 16万円
実施経緯	平成30年より、札幌体操連盟とノボシビルスク体操連盟は年1回持ち回りで交流を実施している		
主管団体 総 評	<p>本交流後の次週に中学校の大会が控えている中、本交流のために参加協力して下さる新体操クラブが多いことに感銘を受けました。また、北星学園中学高等学校には、一般の生徒および新体操に関係しない職員や先生方から、交流会や授業を通じて交際交流のために協力をいただき大変感謝です。今回、ロシアの小学生のトップレベルの選手が参加していることによって技術レベルの向上には、どんな指導法を行っているかなど熱く語られました。</p>		



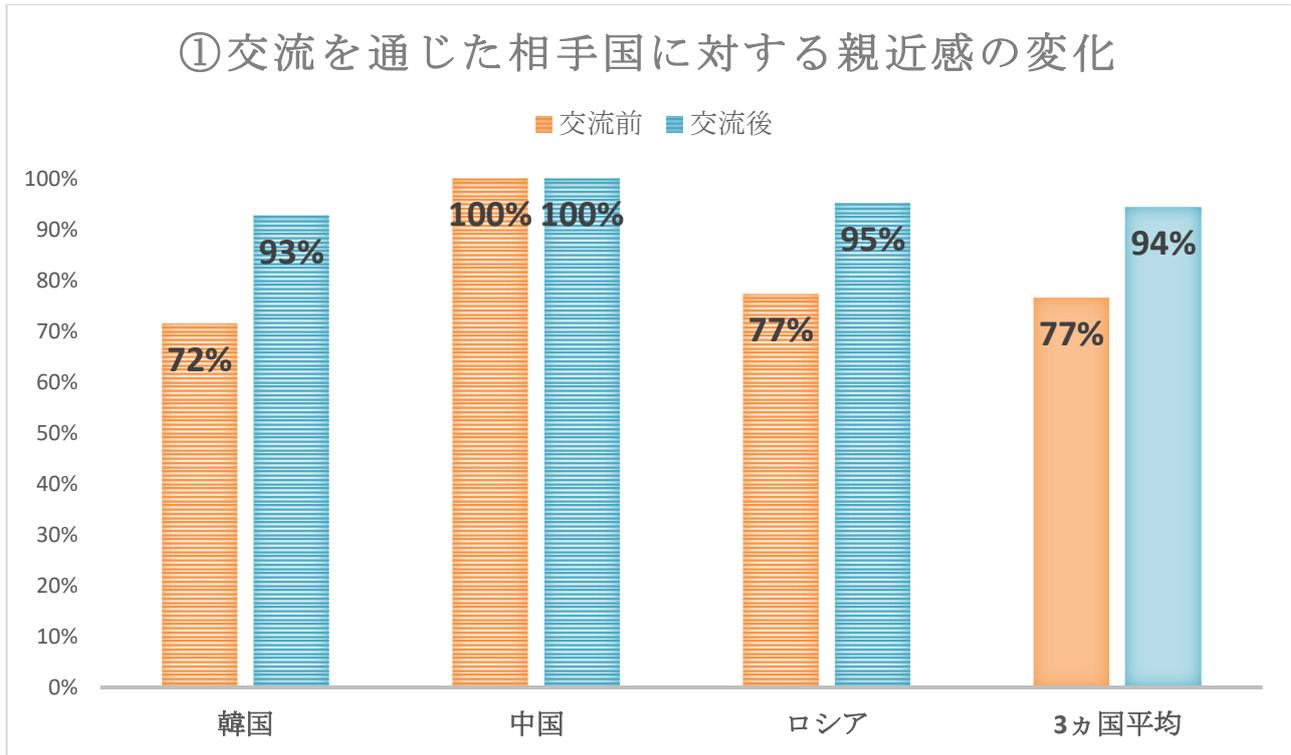
宗像市・ロシア ラグビーユース交流事業
「試合後の交流」



日韓カーリング交流
「交流終了後の集合写真」

参加者ヒアリング結果

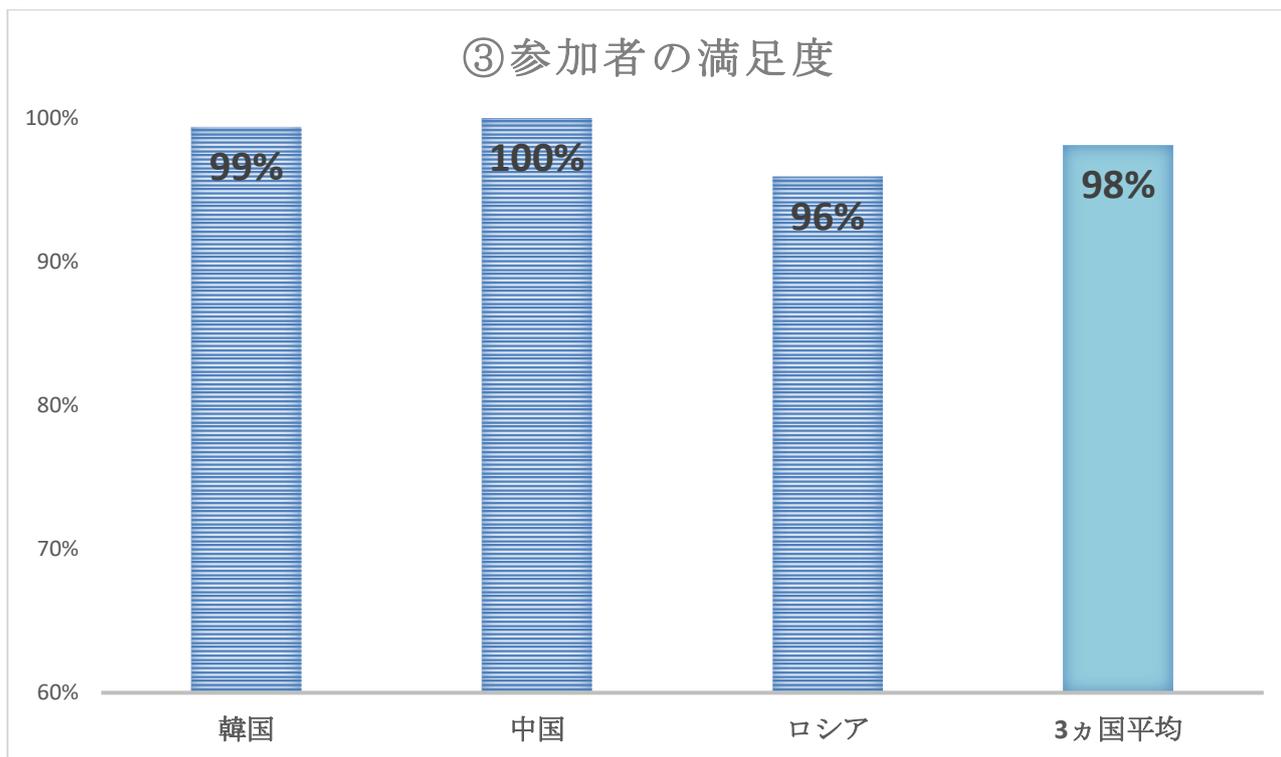
①各交流の参加者に対して「交流相手国へ親近感」について、1(親しみを感じない)～5(親しみを感じる)の5段階で回答していただきました。交流前と交流後に、4および5に回答した参加者の割合を国ごとに示します。



②各交流の回答者数と割合(交流前・交流後)

交流国	都道府県	名称	受入/派遣	交流前			交流後		
				設問回答者数	親近感4・5回答者数	親近感4・5回答(%)	設問回答者数	親近感4・5回答者数	親近感4・5回答(%)
韓国	福岡県	北九州市・テグ広域市キッズ陸上競技交流事業	受入	17	11	65	17	15	88
	青森県	青森県・平澤市サッカー協会友好交流事業	受入	30	25	83	37	34	92
	大阪府	大阪クラブチーム・仁川ハンドボール交流	受入	21	21	100	21	21	100
	長崎県	2019平戸・金海親善少年サッカー交流事業	受入	22	11	50	22	20	91
	北海道	日韓カーリング交流	受入	32	10	31	32	28	88
	高知県	日韓交流ソフトボール事業	派遣	18	18	100	18	18	100
	高知県	仁川・高知バスケットボール交流事業	派遣	18	17	94	18	17	94
合計				158	113	72	165	153	93
中国	東京都	東京都墨田区・日中卓球交流事業	派遣	20	20	100	20	20	100
	栃木県	栃木県バドミントン協会・上海バドミントン交流	派遣	10	10	100	10	10	100
合計				30	30	100	30	30	100
ロシア	福岡県	宗像市・ロシアラグビーユース交流事業	受入	20	15	75	20	17	85
	北海道	ノビルスク女子新体操選手受入事業	受入	22	22	100	22	22	100
	青森県	青森県・モスクワアイスホッケー交流事業	派遣	20	18	90	20	20	100
	埼玉県	本場ロシアホッケー交流事業	派遣	18	18	100	18	18	100
	北海道	サハリン州スポーツ交流事業	派遣	15	4	27	15	15	100
	北海道	第21回北海道柔道連盟(ジュニア)・ロシア親善交流	派遣	28	18	64	28	25	89
合計				123	95	77	123	117	95

③各交流の参加者に対して「交流に参加した満足度」について、1(不満)～5(満足)の5段階で回答していただきました。交流後に4および5に回答した参加者の割合を国ごとに示します。



④各交流の回答者数と割合(交流前・交流後)

都道府県	名称	派遣/受入	交流後		
			設問回答者数	満足度4・5回答者数	満足度4・5回答(%)
韓国	福岡県 北九州市・テグ広域市キッズ陸上競技交流事業	受入	17	17	100
	青森県 青森県・平澤市サッカー協会友好交流事業	受入	37	37	100
	大阪府 大阪クラブチーム・仁川ハンドボール交流	受入	21	21	100
	長崎県 2019平戸・金海親善少年サッカー交流事業	受入	22	22	100
	北海道 日韓カーリング交流	受入	32	32	100
	高知県 日韓交流ソフトボール事業	派遣	18	18	100
	高知県 仁川・高知バスケットボール交流事業	派遣	18	17	94
合計			165	164	99
中国	東京都 東京都墨田区・日中卓球交流事業	派遣	20	20	100
	栃木県 栃木県バドミントン協会・上海バドミントン交流	派遣	10	10	100
合計			30	30	100
ロシア	福岡県 宗像市・ロシアラグビーユース交流事業	受入	20	17	85
	北海道 ノビシルスク女子新体操選手受入事業	受入	22	22	100
	青森県 青森県・モスクワアイスホッケー交流事業	派遣	20	20	100
	埼玉県 本場ロシアホッケー交流事業	派遣	18	18	100
	北海道 サハリ州スポーツ交流事業	派遣	15	15	100
	北海道 第21回北海道柔道連盟(ジュニア)・ロシア親善交流	派遣	28	26	93
合計			123	118	96

日本スポーツ協会
地域交流実績

年度	対象国	派／受	実施交流数	人数	合計人数
2003	韓国	派遣	12交流	331	703
		受入	13交流	372	
2004	韓国	派遣	22交流	578	860
		受入	11交流	282	
2005	韓国	派遣	8交流	160	288
		受入	6交流	128	
2006	韓国	派遣	10交流	187	283
		受入	4交流	96	
2007	中国	派遣	5交流	70	421
		受入	1交流	14	
	韓国	派遣	12交流	232	
		受入	6交流	105	
2008	中国	派遣	5交流	86	531
		受入	3交流	47	
	韓国	派遣	13交流	244	
		受入	9交流	154	
2009	中国	派遣	10交流	205	1,044
		受入	2交流	44	
	韓国	派遣	25交流	543	
		受入	13交流	252	
2010	中国	派遣	9交流	183	1,264
		受入	6交流	106	
	韓国	派遣	30交流	640	
		受入	15交流	335	
2011	中国	派遣	6交流	103	585
		受入	3交流	52	
	韓国	派遣	19交流	359	
		受入	5交流	71	
2012	中国	派遣	5交流	87	802
		受入	2交流	32	
	韓国	派遣	23交流	436	
		受入	13交流	247	
2013	中国	派遣	2交流	40	564
		受入	2交流	31	
	韓国	派遣	19交流	356	
		受入	11交流	137	
2014	中国	派遣	1交流	16	231
		受入	1交流	20	
	韓国	派遣	8交流	133	
		受入	4交流	62	
2015	中国	派遣	4交流	72	389
		派遣	11交流	186	
	韓国	受入	7交流	131	

日本スポーツ協会
地域交流実績

年度	対象国	派／受	実施交流数	人数	合計人数
2016	中国	派遣	3交流	38	433
		受入	2交流	35	
	韓国	派遣	10交流	179	
		受入	9交流	181	
2017	中国	派遣	1交流	18	121
		受入	1交流	19	
	韓国	派遣	1交流	12	
		受入	1交流	22	
	ロシア	派遣	1交流	17	
		受入	2交流	33	
2018	中国	派遣	3交流	56	331
		受入	1交流	22	
	韓国	派遣	4交流	80	
		受入	5交流	105	
	ロシア	派遣	3交流	58	
		受入	1交流	10	
2019	中国	派遣	2交流	32	252
		受入	0交流	0	
	韓国	派遣	2交流	37	
		受入	5交流	76	
	ロシア	派遣	4交流	72	
		受入	2交流	35	

※受入は対象交流国役員・選手ならびに日本側役員・通訳の参加人数（委託対象）

※派遣は日本選手団人数（委託対象）

<実施交流数合計>

日中地域交流	80
日韓地域交流	372
日露地域交流	13
総実施交流数	465

<参加人数合計>

日中地域交流	1,428
日韓地域交流	7,449
日露地域交流	225
総参加人数	9,102

YOU ARE THE FUTURE OF SPORT.



SPORT
FOR
TOMORROW